



健康・生活

- ・生活リズム、生活習慣を把握し、必要に応じてその見直し方法を提案するなど、心身の健康についての支援を行う。
- ・食事、睡眠、排泄、清潔、など身辺自立に向けて具体的な手立てに繋げる。

運動・感覚

- ・初期感覚の育ちを捉え、感覚統合を狙ったアプローチを中心に体づくりを継続する。
- ・粗大運動・音遊び・感触遊びを通して、自分の体の使い方を体験的に知ることや、集団生活で行う運動の事前学習も含め、様々な経験をする。
- ・手と目の協応課題を中心に、生活動作に繋がる手先課題の経験を積む。

認知・行動

- ・小集団：状況の把握やルールを理解する力を育む。自ら行動したり、確認したり、判断する経験をし、達成する満足感を味わい、意欲を育てる。
- ・個別指導：刺激の少ない環境設定の中で、集中して課題に取り組み、その子の得意を伸ばす。特性を理解し学習習得や課題解決の方法を見出す。

言語 コミュニケーション

- ・非言語ツール（身振りやサイン、視覚支援カードなど）を有効活用し、その子にとって分かりやすい環境作りをする。
- ・言葉のやり取りを楽しみ、多くの言葉に触れる経験をする。“自分の思いが伝わる”“相手の言葉を聞く”経験を積めるような環境を作る。

人間関係 社会性

- ・自分の思いを伝えることや相手に伝わったという実感が持てる。また、やり取りによって折り合いをつける経験が出来るような支援をする。
- ・“自分の状態や気持ちを知る”や“自分と他者との違いに気づく”ことで、自己コントロールや相手と気持ちの良い関わりが出来る、誰かと一緒に過ごすことの心地よさや、協力することで得られる気持ちなどを体験的に知っていく。 ○自己理解と自己調整力を育む

家族支援

- ・個別相談
- ・交流会

地域支援・地域連携

- ・保育所等訪問支援を実施し、担当者と連携を図る。インクルーシブ教育の重要性を発信する。

移行支援

- ・就労や進学の情報提供する。

職員の質の向上

- ・専門指導員との定期的なケースカンファ
- ・内部研修（虐待、防災、救命、防犯など）月に1回
- ・外部研修（セミナー参加等）
- ・地域部会への参加等

主な行事

- ・和太鼓コンサート
- ・水遊び ・夏休み寺子屋企画
- ・買い物体験などお出かけ企画
- ・BBQ・クッキング など